

◆脳神経外科業績

《和文》

1. 浦崎永一郎、豊田啓介、藤岡裕士：広範囲 DREZotomy を施行した脊髄損傷後疼痛の 1 例・機能的脳神経外科 55: 1-8, 2016
2. 藤岡裕士、泉原昭文、浦崎永一郎、原昌司、空田剛彦、中村龍二、松尾秀徳、山下勝弘：脳卒中後の治療介入時期に着目した運動野刺激療法の上肢麻痺改善効果：A feasibility and safety study・臨床神経生理学 45: 1-9, 2017

《英文》

1. Fujioka H, Urasaki E, Izumihara A, Yamashita K: Nonconvulsive status epilepticus following implantation of subdural grid electrodes in a brain tumor patient (Letter to the editor)・Clin Neurophysiol 127: 975-976, 2016

《学会発表》

1. 浦崎永一郎、石坂俊輔：車椅子状態から脱却した CRPS 小児の 1 例・第 58 回佐世保脳神経外科医会・2016. 4. 22
2. 浦崎永一郎、石坂俊輔、福留隆泰、酒井和香、成田智子：痙性斜頸に対する脳外科的アプローチの選択-4 例の経験から・第 125 回県北神経懇話会・2016. 6. 21 (佐世保)
3. 浦崎永一郎、豊田啓介、藤岡裕士、酒井和香、植村 優：GPi-DBS が無効で選択的末梢神経遮断術とボツリヌス毒素で治療した頸部ジストニアの 1 例・第 24 回九州・山口機能神経外科セミナー・2016. 8. 21 (福岡)
4. 浦崎永一郎、豊田啓介、藤岡裕士：広範囲 DREZotomy を施行した脊髄損傷後疼痛の 1 例・第 24 回九州・山口機能神経外科セミナー・2016. 8. 21 (福岡)
5. 浦崎永一郎、石坂俊輔：脊髄刺激療法に工夫を要した高度脊椎変形に伴う頑痛症の 1 例・第 60 回佐世保脳神経外科医会・2016. 11. 2
6. 浦崎永一郎：パーキンソン病の外科治療・平成 28 年度 神経・筋難病看護エキスパートナース研修・2016. 11. 15 (川棚)
7. 浦崎永一郎、石坂俊輔：経仙骨裂孔的硬膜外刺激で治療した高度脊椎変形による頑痛の 1 例・第 56 回日本定位・機能神経外科学会・2017. 1. 28 (大阪)
8. 浦崎永一郎：パーキンソン病の治療～パーキンソン病 200 年 わかったこと、わからないこと、そして治療～「パーキンソン病の外科治療」・パーキンソン病市民公開講座 in 佐世保・2017. 2. 25
9. 浦崎永一郎、石坂俊輔：広範囲 DREZotomy を施行した脊髄損傷後疼痛患者の経過・第 127 回県北神経懇話会・2017. 2. 28 (佐世保)
10. 石坂俊輔、浦崎永一郎：高齢者の非外傷性円蓋部くも膜下出血・第 59 回佐世保脳神経

外科医会・2016.7.29

11. 石坂俊輔：スタンフォード大学留学報告・第34回長崎脳神経外科研究会・2016.12.3
12. 石坂俊輔、津田真美、浦崎永一郎：VEPモニタリングが有用であった未破裂内頸動脈眼動脈分岐部瘤の1例・第61回佐世保脳神経外科医会・2017.2.21
13. 石坂俊輔：オプトジェネティックスを用いた小脳歯状核刺激は脳梗塞後の運動機能回復を促進する・STROKE 2017（大阪）・2017.3.16